市花りんどう

かわにし 市議会だより

平成21年(2009年)
11月1日
No.173
発行：川西市議会
編集：広報委員会
TEL 072-740-1255
FAX 072-740-1318
ホームページアドレス　http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/

川西市・宝塚市・猪名川町 消防通信指令事務協議会の規約制定など審議

取調べの全過程可視化など刑事訴訟法改正を求め意見書提出

平成21年第5回定例市議会は、去る9月1日に招集され、29日に会期を終えました。

この定例市議会では、宝塚市、川西市及び猪名川町消防通信指令事務協議会の規約制定協議や一般会計補正予算案をはじめ、公営企業（水道・病院・下水道）の会計決算など、合計38の案件を審議しました。

また、本会議最終日には、「取調べの全過程の可視化など刑事訴訟法の改正を求める意見書」など、3件の意見書を可決し、直ちに関係大臣等に送付しました。

第5回市議会（定例会）日程

第1日（9月1日）
○会期の決定
○教育委員会委員の選任〔1議案〕⇒表決
○人権擁護委員候補者の推薦〔4議案〕⇒表決
○市功労者表彰〔3議案〕⇒表決
○平成20年度水道事業会計決算認定など〔14議案〕⇒市長提案説明

〈議　案　熟　読〉

第2日（9月4日）
○平成20年度水道事業会計決算認定など〔14議案〕⇒質疑・委員会付託
○請願〔3件〕⇒委員会付託
○一般質問

第3日（9月7日）
○一般質問

〈常任委員会・決算特別委員会審査〉

第4日（9月24日）
○平成20年度一般・特別会計決算認定〔7議案〕⇒市長提案説明

第5日（9月29日）
○平成20年度一般・特別会計決算認定〔7議案〕⇒質疑・付託

〈決算特別委員会審査〉・・・継続審査

○平成20年度水道事業会計決算認定など〔14議案〕⇒各委員長報告・質疑・討論・表決
○請願〔1件〕⇒取下げ
○請願〔1件〕⇒継続審査
○請願〔1件〕⇒委員長報告・質疑・討論・表決
○意見書案〔3件〕⇒表決
○請願〔2件〕⇒表決
○市議会委員会条例の一部改正〔1議案〕⇒表決

9月定例会

“市民の安全・安心” 期待と信頼に応える消防サービスへ

この9月定例会では、「宝塚市、川西市及び猪名川町消防通信指令事務協議会の規約の制定に係る協議について」を審議しました。

これは、本年11月1日から、2市1町で共同し、広域的に消防通信指令事務を行う協議会を、宝塚市消防本部内に設置するため、その協議会の規約を定めようとするものです。

その審査では、本市の消防通信指令業務においては、すでに猪名川町との共同運用が行われており、さらに宝塚市とも連携することによる長所や今後の方向性について、活発な質疑が交わされました。

今後とも、市民の安全・安心を守り、期待と信頼に応える消防サービスの高度化が望まれるところです。

また、この定例会では、「平成21年度一般会計補正予算（第3回）」についても審議しています。

主な補正内容は、国の緊急経済対策事業の追加であり、20年度では3歳から5歳の第2子以降の子どもに支給していました「子育て応援特別手当」を第1子まで拡充して支給するとともに、雇用失業情勢に対応すべく「住宅手当緊急特別措置事業」にかかる給付金等を追加するほか、文化会館などのトイレ改修にかかる経費を追加しようとするものです。

その審査では、子育て応援特別手当の無戸籍者への対応や住宅手当の支給要件などについて、活発な論議が交わされました。

みんなの市議会 No.65

意見書・決議とは

このコーナーでは、市議会の機能や役割などを紹介するとともに、1年間にわたる議会の活動状況などをお知らせしています。

今回は、市政の範囲にとどまらず、県政や国政レベルの問題に関しても意見表明や働きかけを行う“意見書・決議”について紹介します。

市議会は、市民の代表として、市政に市民の声を反映させるとともに、市政が適正に運営されているかを監視するなどの役割を担っています。

市民の生活は、市が行う施策はもちろんのこと、国や県が行う施策によってもさまざまな影響を受けます。

そこで市議会は、これらの機関に対しても積極的に働きかけ、住民意思の反映に努めていく必要があります。

このような働きかけの方法としては、国民や法人等には「請願権」が認められていますが、法人格を持たない議会は、請願を行うことができないため、これに替わるものとして“意見書”の提出や“決議”を行うことが認められています。

◇　◇　◇

意見書……地方自治法では、「議会は、当該地方公共団体の公益に関する事件につき、意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」と規定されています。

これは、市議会が不特定多数の市民の利益に関係する事項について、処理権限のある国、あるいは県をはじめとする他の地方公共団体の機関に対しても、市民の代表として、議会の意思をまとめた意見書を提出し、制度等の改善や新設などを求めようとするものです。

川西市議会では、昨年1年間で、「すべての子どもに公平な医療を保障することを求める意見書」など、4件の意見書を可決し、政府関係機関等に提出しています。

決　議……決議は、「当該地方公共団体の公益に関する事件」について、市民の代表機関である市議会の意思を対外的に表明することなどを目的とした議決です。

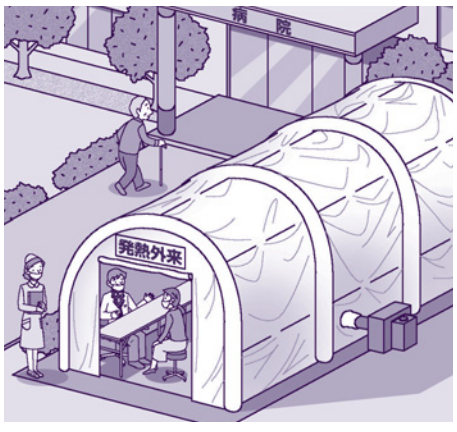
従って、意見書と決議の対象は同じですが、意見書が関係行政庁への働きかけを前提としているのに対して、決議は、市議会の意思表明自体を目的としている点に違いがあります。

川西市議会では、ことしの5月29日に北朝鮮の核実験に抗議する決議を行っています。

一般質問 要旨

一般質問は、本会議第２日と第３日の２日間にわたり行われ、13人の議員が、37項目について質問しました。
ここでは、そのうち13項目について、質問と答弁の要旨を掲載しています。そのほかの質問項目は、下段の「一般質問項目（掲載分を除く）」をご参照ください。
詳しい内容は、11月下旬に発行予定の会議録でご覧いただけます。会議録は、市議会ホームページにも掲載しますので、ご利用ください。

保健 新型インフルエンザ
秋から冬への対応策問う



議員　新型インフルエンザへの感染が全世界に拡大し、わが国でも猛威を振るっているが、国が準備するワクチンは、妊婦や乳幼児などの接種を優先する上、国内での生産量には不足が見込まれている。

そこで、秋から冬にかけ、さらに流行が予想されている新型インフルエンザへの対応策を伺いたい。

総務部長　公民館などでは、情報提供や注意を呼びかけるほか、マスクの予備配置を行う考えである。

また、保育所では、感染者の発生時には、休所での対応を極力避けることを基本とし、現在、対応策を検討しているところであり、幼稚園、小・中学校では、伊丹健康福祉事務所等の助言を受け対応に努めたい。

川西病院事務長　これまでの経験を生かし、すでに医療用資材の備蓄などには取り組んでおり、今後は、県補助金を活用し、汚染された空気の拡散を防ぐ医療用テントの配備など医療体制を充実させる考えである。

教育 特別支援教育コーディネーター
人材育成の取り組み内容は

議員　市教育委員会では、特別支援教育とは、一人一人の子どもたちに必要な支援や、どの子どもにも分かりやすい授業の実践など、一人一人が輝く学校づくりを目指すものであるとしている。

しかし、この取り組みのリーダーである「特別支援教育コーディネーター」には、高度な専門知識や判断力が求められる反面、全国的に人材育成が遅れているとの指摘があることから、本市の取り組みを伺いたい。

教育振興部長　このコーディネーターは、学校園内及び関係機関等との連絡調整や保護者の相談窓口等として、支援の中心的役割を担っている。

市教育委員会では、専門性の向上に向け、具体的な実践研修を実施しているほか、コーディネーター間の連携を図り、より効果的な地域支援体制を目指すための連絡会議を20年度から設置しており、これらを通じて、一人一人が一人一人を大切にする教育を推進していく考えである。

福祉 障がい者の就労支援
本市の取り組み状況聞く

議員　障害者自立支援法の施行により、障がい者の福祉的就労から一般就労への移行が推進されており、本市では、19年度から、市障害者（児）地域生活・就業支援センターに就業支援員を配置し、ハローワークなどと連携して就労を支援している。

そこで、同センターにおける支援の取り組み状況について伺いたい。

健康福祉部長　同センターでは、就業支援員の配置や、「ふれあいプラザ」への移転といった支援体制の強化を図るほか、障がい者の就労意識の向上により、20年度では、就労相談の件数や、センターの支援を受け民間企業に就職された方が、前年度より大きく増加するなどの成果を上げるとともに、企業訪問を行うことにより、新たに職場実習等の受け入れ企業５社を開拓している。

しかし、景気の先行きは不透明で、障がい者の雇用環境は、厳しさを増しているため、21年度は、相談員を１人増員し、体制を充実させている。

保健 増加する“酒害”患者
予防や支援の取り組みは

議員　近年、アルコール依存症などの酒害患者が増加しているが、アルコール依存症は体の病であり、適切な治療などにより改善することは、理解されていない。

そこで、本市におけるアルコール依存症予防への取り組み状況と、患者やその家族に対する支援策を伺いたい。

健康福祉部長　アルコールの過度の摂取は、臓器障害などの原因となり、さらにアルコールに依存するようになれば、家庭崩壊などを招くことになりかねない側面がある。

市では、ヘルスアップすくーる等で、健康的なアルコールの飲み方などの指導・啓発に努めるほか、小・中学校の保健の授業でも、飲酒と健康について学習しており、飲酒の正しい知識の普及に努めている。

また、患者等への支援として、相談機関や専門診療科の紹介、さらには、必要に応じて断酒会に関する情報提供を行っている。

教育 夏休み 登校日や補充学習
小・中学校での実施状況示せ

議員　６月定例会の一般質問では、小学校の夏休みに登校日を設けることに対し、市教育委員会の前向きな考えを伺ったところである。

そこで、小・中学校の夏休みにおける児童・生徒の登校日や、補充学習などの実施状況を伺いたい。

教育振興部長　夏休み中の登校日は、児童・生徒の学力保障や、健康観察などの面で意義があり、本市では、学校長の判断により、実施できるとしているが、夏休みは、家庭学習や各家庭の計画などで、有意義に過ごすことも重要であるとの考え方から、実施校はなく、教育委員会では、校長会などで、実施を勧めたが、全校的な実施には、時間が必要であると考えている。

一方、補充学習などについては、生活面の支援や学力補充が必要な児童・生徒に対して、ほとんどの学校が、独自に工夫し、取り組んでいる。

福祉 留守家庭児童育成クラブ
落ち着いた生活空間確保を

議員　本市の留守家庭児童育成クラブでは、共働き家庭の増加などの社会状況を反映して、入所児童が増加しており、クラブ室が手狭となっている実態がある。

そこで、勉強と遊びの場を区切るなど、子どもたちが落ち着いて生活できる空間づくりとして、クラブ室の増改築を実施する考えはないか。

こども部長　本市のクラブ室の面積は、国が策定した放課後児童クラブガイドラインに示す面積を確保しているものの、衛生面や安全面の整備はもちろんのこと、子どもの情緒面からも、落ち着けるスペースを確保することが大切であり、狭いクラブ室については、増改築等を検討する必要があると認識している。

しかし、クラブ室の増改築には、国等の補助がなく、財政的に厳しい面があるため、国に補助対象の拡大を要望するとともに、今後の入所児童数の推移も視野に入れながら、対応を検討していきたい。

細菌性髄膜炎ワクチンの定期予防接種化を早期に求める意見書〈要旨〉

乳幼児などが感染する細菌性髄膜炎は初期診断が難しく、死亡や深刻な後遺症を招く割合が高い感染症であるが、原因菌の一つであるインフルエンザ菌ｂ型（ヒブ）には、有効なワクチンが製造されており、定期接種を実施している国々では、発症率が激減し、過去の病となっている。

一方、我が国では、ヒブワクチンは任意接種とされており、４回の接種で約３万円を要するため、子育て世代には大きな負担となっている。

よって当市議会は、国が、ヒブワクチンを公費による定期予防接種化するとともに、細菌性髄膜炎の情報を周知徹底するよう要望する。

現行保育制度の堅持・拡充と保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書〈要旨〉

子育て支援施策に対する国民の期待は高まっているが、経済財政諮問会議等で議論されている保育制度改革は、直接契約の導入や最低基準の廃止など、公的責任を後退させる内容で、これが進めば、保育の地域格差や、保護者の経済状況で子どもが受ける保育水準にも格差が生じる。

保育の維持向上には、国と地方公共団体が保育に責任を負う現行保育制度を基本に、最低基準の底上げと財政の後押しが必要不可欠である。

よって当市議会は、国が、現行保育制度の堅持・拡充と、保育・子育て支援予算の大幅増額をされるよう要望する。

取調べの全過程の可視化など刑事訴訟法の改正を求める意見書〈要旨〉

裁判員制度が導入され、裁判への健全な国民感覚と社会常識の反映が期待されているが、裁判員が供述調書の任意性や信用性の判断に苦しむことが懸念されており、取調べのあり方の見直しが求められている。

検察庁と警察庁は、取調べの一部録画を試行するなどの対策を打ち出したが、全過程の録画・録音による可視化は、自白の任意性や信用性を迅速・的確に判断するために不可欠であり、取調べのあり方を抜本的に見直す必要がある。

よって当市議会は、国が、取調べの全過程の可視化など刑事訴訟法を早急に改正するよう要望する。

本会議・委員会開催状況

８　月
- 7日 ○広域ごみ処理施設調査特別委員会（猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員総会の報告について）
- 25日 ○議会運営委員会

９　月
- 1日 ○第５回市議会定例会（招集日）
  ○議会運営委員会
  ○広域ごみ処理施設調査特別委員会（平成21年第４回猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会（定例会）議案の報告についてなど）
- 4日 ○第５回市議会定例会（第２日）
- 7日 ○第５回市議会定例会（第３日）
- 9日 ○総務常任委員会
- 10日 ○文教公企常任委員会
- 11日 ○厚生経済常任委員会
  ○厚生経済常任委員協議会（特別養護老人ホーム整備法人の選定等について）
- 14日 ○建設常任委員会
  ○まちづくり調査特別委員会（中央北地区整備事業について）
- 15日 ○公営企業会計決算審査特別委員会
- 17日 ○議会運営委員会
- 24日 ○第５回市議会定例会（第４日）
  ○議員協議会（川西市保育所整備計画（原案）について）
- 29日 ○第５回市議会定例会（最終日）
  ○一般会計決算審査特別委員会
  ○特別会計決算審査特別委員会

10　月
- 1日 ○一般会計決算審査特別委員会
- 2日 ○一般会計決算審査特別委員会
- 5日 ○一般会計決算審査特別委員会
- 6日 ○特別会計決算審査特別委員会
- 19日 ○議会運営委員会
  ○議員協議会（川西市保育所整備計画（原案）について）
- 20日 ○広報委員会

公園・緑地 公園の維持管理
地域の人材活用考えないか

議員　団塊の世代が退職年齢を迎え、様々な技術を持った方々が地域でボランティア活動をされている。

　そこで、市の経費節減の観点から、こうした方々に、市内の公園の維持管理を委託する考えはないか。

土木部長　市内には270カ所余りの公園があり、その維持管理については、除草や低木の剪定を業者委託のほか、市職員で行っているが、日常の管理は、市だけでは行き届かないため、3000平方メートル未満の211カ所の公園で、地元自治会等に清掃などの管理協力をお願いしている。

　公園の維持管理を自治会等に委託することは、地域の人材を活用し、実情に合った維持管理が行えるほか、協働のまちづくりの観点からも意義があり、一部の自治会には、有償ボランティア的考えで、検討を依頼しており、今後、試行的に実施できるよう協議していきたい。

人権推進 人権侵害の根源“いじめ”
防止条例制定の考えなど聞く

議員　他市では、いじめがあらゆる人権侵害の根源であるととらえ、「いじめ等防止条例」を制定し、学校だけでなく、家庭や職場、地域全体で虐待などの防止活動を展開し、いじめ等の防止に取り組む市の決意を示すことが重要であるとしている。

　そこで、本市においてもこの条例を制定する考えや、いじめ等の防止や解決のためのネットワークづくりに対する考え方について伺いたい。

市民生活部長　本市では、人権尊重の理念を大切にした人権教育・人権啓発を展開し、今後もこれを充実していきたいと考える一方で、条例制定については、他市の実施状況を参考に研究していきたいと考える。

　また、本市における虐待などに対する取り組みは、各担当部署で行っており、これを強化することで、関係機関と連携・協力できるものと考えているが、総合的な取り組みも重要であると認識しており、ネットワークづくりも研究していきたい。

人権推進 差別や偏見なくす取り組みは
身体と心の“性同一性障がい”

議員　身体の性（生物学的な性）と心の性（自分が男である女であるという意識）が一致しない性同一性障がい者に対し、15年に成立した「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」により、戸籍上の性別変更が可能となったが、多くの当事者は、差別や偏見に苦しんでいる。

　そこで、人権擁護都市を宣言した本市における、このような差別や偏見をなくす取り組みを伺いたい。

市民生活部長　市では、17年12月に「人権行政推進プラン」を策定し、人権問題に関する情報や学習機会の提供のほか、人権尊重の視点により、事業の点検、評価を目指している。

　具体的には、当事者家族による手記の広報紙掲載、職員の人権研修や、人権学習市民講座において当事者による講演などで、その悩みや苦しみを理解し、人権尊重の精神を養う教育や啓発を推進している。

まちづくり 中央北地区整備事業
全市民対象に説明会開催せよ

議員　中央北地区整備事業には、これまでに多額の税金が投入されており、市民には、この事業の現状や計画を知る権利がある。

　そこで、開かれた行政にするため、地権者だけの説明会開催にとどまらず、全市民を対象とした事業内容説明会を開催し、意見交換ができる場を設けるべきと考えるがどうか。

まちづくり部長　中央北地区で取り組む土地区画整理事業は、公共施設の整備と、個別の土地利用から事業が成り立っており、地権者個々の土地利用に関して、市民の意見が取り入れられる部分は、極めて限定されるものである。

　そのため、一般市民に対する説明会の開催は考えておらず、公園などの公共施設の整備については、事業計画に際し、広く市民の意見を取り入れられるよう、工夫を講じていきたいと考えている。

市民生活 市政への参加促進
すべての催し物に一時保育を

議員　市主催の説明会や講座、会議など、すべての催し物は、市民の市政への参加促進のため、また、知る権利の保障や男女共同参画の視点からも、市民が参加しやすい環境整備が必要である。

　そこで、現在、一部の催し物に一時保育を実施されており、予算や会場問題もあるが、これまでに実施している経験をもとに、市のすべての催し物に一時保育を実施する考えについて伺いたい。

市民生活部長　一時保育については、昨年３月に見直した男女共同参画プランにおいて、多くの市民が参加する催し物や、集中的に開催される説明会などで、実施する必要性をうたっている。

　今後は、催し物の内容や性質、市民のニーズを見極めながら、保育ボランティアの現状等を考慮しつつ、対応に努めたい。

病院 信頼される病院づくり
市立川西病院 市の考え方ただす

議員　市立川西病院では、消化器内視鏡センターの開設など、事業経営改革プランに沿った施策を推進しているが、医師をはじめ、病院職員が、患者に対して説明責任を果たし、信頼を得るための活動に優先して取り組む必要があると考える。

　そこで、信頼される病院づくりに向けた市の考え方を伺いたい。

川西病院事務長　医療現場では、患者と医師などの医療スタッフとの信頼関係が重要であり、そうした関係を築くには、患者の立場に立った医療の提供や、インフォームドコンセント（病状や治療方針を説明し、患者の同意を得ること）が必要である。

　当院では、医師によるカンファレンス（症例検討会）や看護師ミーティング、薬剤師や栄養士による指導、医療安全管理スタッフによる院内巡回などにより、患者に関する情報の共有や医療提供体制の充実に向けた取り組みを強化しており、今後とも信頼される病院づくりに努めたい。

消防 消防と医療の連携
救急搬送の現状など聞く

議員　消防庁の調査では、救急搬送時に患者の搬送先病院が速やかに決まらない事例や、救急隊の到着から病院収容までの時間が遅延傾向にあることが明らかになっている。

　そこで、これらの改善策を盛り込み改正された消防法の内容や、本市の救急搬送の現状を伺いたい。

消防長　改正後の消防法では、消防機関と医療機関の連携を図るため、都道府県が救急搬送や傷病者の受け入れに関する協議会を設置することや、これらの実施基準を策定し、公表することが定められている。

　本市の救急搬送は、５年前との比較でも、救急隊の現場滞在時間に大きな変動はなく、搬送先も全体の96％は３回までの交渉で確定しており、確定が困難な場合は、現場の救急隊に並行し、指令センターが、県広域災害・救急医療情報システムなどを活用し、対応している。

受理した陳情

○要望書（阪神福祉事業団「ななくさ育成園」建替えに際し、川西市に分散建設の誘致についての具体的見通しの明示をすること等）
○要望書（障がい者福祉に関する要望）
○要望書（障がい者福祉に関する要望）
○障害者自立支援法の廃止を求める国への意見書採択を求める陳情書

一般質問項目（掲載分を除く）

○中長期の財政見通しについて
○情報処理システム開発関連の委託発注体制の問題点について
○空き家及び空き地の管理対応並びに、固定資産税徴収等に関する当局の対応について
○各種選挙における投票所業務の態勢（立会人の拘束時間適正化と短縮、投・開票事務従事者の拘束時間）について
○性同一性障がい者への施策（公的書類の性別記載）について
○保育所の入所待機児童の現状とその解消に向けた今後の取り組みについて
○新型インフルエンザへの対応について
○新型インフルエンザ対策として、肺炎球菌ワクチンの公費助成を行うことについて
○「国崎クリーンセンター」の管理・運営（「不適合事象」や運転・管理委託契約における職員配置の実態に対する市の見解・対応、住民の信頼を確保していく取り組み）について
○改正貸金業法「総量規制」の情報提供と対応について
○交通バリアフリー法に適合する本市の路線バスの現状と課題（バス車両の現状と今後、バス購入補助制度）について
○市道11号における歩道の整備について
○中央北地区のおける土地区画整理事業計画決定への日程と事業計画の項目について
○救急医療体制（AEDの設置状況）について
○「住宅用火災警報器」の設置促進の現状について
○夏休みの各校登校の取り組み（気にかかる児童・生徒のこころの交流）について
○コンピューターを利用した教育（用紙代・インク代等の消耗品に関する予算、手作りシールの利用範囲、努力した夏休み中の宿題の処理）について
○教員の海外日本人学校派遣について
○「特別支援教育コーディネーター」を複数指名する考えについて
○公立幼稚園における幼保一元化の考えについて
○公立幼稚園における延長保育の考えについて
○加茂遺跡等の公園化へ一歩踏み出す提案について
○「資格証明書」の交付や、「医療保険に加入していない方」への対応について
○市立川西病院に対する評価（医療品質の内・外機関による評価と実態把握）について

一般質問発言議員

（発言順）
梶田　忠勝
宮坂満貴子
小山　敏明
倉谷八千子
岩田　秀雄
住田由之輔
小西佑佳子
津田加代子
上馬　　勇
大矢根秀明
黒田　美智
安田　忠司
平岡　　譲

常任委員会報告

今期定例会の常任委員会で審査された議案は、総務委員会３件、文教公企委員会２件、厚生経済委員会４件、建設委員会１件、総務・文教公企・厚生経済の三つの委員会に分割付託された補正予算案１件の計11件です。

ここでは、各委員会の審査における質疑などの一部について、その要旨を掲載しています。

消防通信指令事務協議会規約の制定協議めぐり論議 総務常任委員会

■宝塚市、川西市及び猪名川町消防通信指令事務協議会の規約の制定に係る協議について

本案は、21年11月から、宝塚市及び猪名川町と消防通信指令の共同管理などを行う協議会を設置し、消防サービスの高度化を図ろうとするものである。

問 今回、２市１町の消防通信指令を行う協議会が、宝塚市の消防本部内に設置されようとしているが、消防通信を広域化するメリットを伺いたい。

答 消防署に119番通報があったときは、今まではそれぞれの地域に通信されていたものが、一つの通信に集約されるため、従来通りの受信速度を保ちながら、通信機器などの設備導入に際する費用面などに効率化が図れるものと考えている。

反対意見 消防通信指令の共同運用は、消防体制の広域化の前提となるもので、市民の安全・安心を守る消防体制を拡充すべきであり、賛成できない。

■高規格救急自動車の買入れについて

本案は、南消防署に配備されている高規格救急自動車の更新時期が到来したため、患者監視装置などの高度救命処置用資機材を装備した、四輪駆動の高規格救急自動車に買い替えようとするものである。

問 この車両に搭載される患者監視装置の詳細を伺いたい。

答 患者監視装置は、病院に設置されているものと同様の機能を備えており、その内容としては、心電図、血圧、呼吸数、体温、脈拍に加え、血中酸素飽和度を監視できるものである。

国保事業会計補正予算を審議
ジェネリック医薬品希望カード作成経費など 厚生経済常任委員会

■平成21年度川西市国民健康保険事業会計補正予算（第１回）

問 今回の補正では、患者負担の軽減や、医療保険財政の健全化を図るため、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の普及促進を目的としたジェネリック医薬品希望カードを作成するための経費として、105万円が追加されようとしているが、同カードの配布方法について伺いたい。

答 このカードは、円滑に後発医薬品が処方されるように、被保険者証とともに医療機関等で提示して、使用してもらうこととしている。

現在使用中の被保険者証の期限が11月末までとなっているため、11月中旬頃に新しい被保険者証を送付する予定としていることから、この機会を活用し、同カードを同封して加入者に配布しようと考えている。

■平成21年度川西市一般会計補正予算（第３回）＜分割付託＞

問 国の住宅手当緊急特別措置事業を受け、住宅を喪失した離職者等に住宅手当を支給する経費として、730万円が追加されようとしているが、支給額の算定方法や、支給期間終了後の支援方針を伺いたい。

答 住宅手当の支給額算定は、生活保護の住宅扶助特別基準に基づくこととされており、本市の場合、単身者には４万2500円で、２人から６人までの世帯については５万5300円、７人以上の世帯については６万6400円を上限に支給しようとするものである。

また、支給期間は、最長で６カ月間とされており、支給期間の終了後は、別の手段で支援していくことになると考えている。

図書購入経費の追加補正を可決
病院事業会計の補正予算なども 文教公企常任委員会

■平成21年度川西市一般会計補正予算（第３回）＜分割付託＞

問 今回、財団法人兵庫県市町村振興協会の交付金を受け、図書館の児童用図書と一般用図書を購入する経費として、277万9000円が追加されようとしているが、購入図書の選定方法を伺いたい。

答 購入図書の選定については、図書館長と、司書資格を有する職員で構成する図書館資料選定会議で決定している。

今回の選定方針では、購入を見合わせていた法令、医学、福祉などの生活情報に係る基本図書の更新を進め、市民の資料要求に応えられるよう、図書の充実を図っていきたい。

■児童用机及び椅子の買入れについて

本案は、本市小学校で使用している児童用の机及びいすが老朽化したことに伴い、児童の成長度合いに応じて、高さ調節が可能な可動式に買い替えようとするものである。

問 この買入れの財源として、国の地域活性化・経済対策臨時交付金が活用されようとしているが、学校施設に関しては、さまざまな要望があり、他市では、机・いすは独自財源で購入されていることから、交付金の活用を机・いすの購入費用に充てることとした考え方を伺いたい。

答 この交付金を活用するにあたっては、児童が学校生活で手に触れる身近なものに活用することが、学習環境の整備の推進にもっとも効果があると判断したもので、全面的な更新をするものである。

■平成21年度川西市病院事業会計補正予算（第１回）

問 今回の補正では、今後に予想される新型インフルエンザの流行に備え、県補助金900万円を受け、その対策が取られようとしているが、市立川西病院における具体的な対策内容について伺いたい。

答 新型インフルエンザの患者の診察については、ことし春の発生時と同様に、他の患者と分けて診察する必要があると考えており、今回、県補助を受け、医療用陰圧テントを購入し、一般患者が感染することを防止しようとするものであり、新型インフルエンザ患者の待機や診察に使用することとしている。

また、入院治療を行う新型インフルエンザ患者からの感染拡大を防ぐため、院内２病室に、室内の気圧を下げ、感染した空気の拡散を防止する装置を整備するための改修工事を併せて行うものである。

市道路線の認定を可決
4路線・総延長521メートル 建設常任委員会

■市道路線の認定について

本案は、都市計画法に基づく帰属により、４路線、総延長521メートルを市道路線として認定しようとするものである。

問 市道路線への認定の経緯としては、開発行為による帰属や、地域住民からの寄付などがあるが、近年の住民から出される市道化要望の傾向について伺いたい。

答 地域住民からの市道化への要望として、自治会等から、昔からある里道などの市道化要望が出される場合がある。

しかし、市道としての認定要件は、公道から公道へと通じていることや、公道から集落へと通じていることなどが必要となっているため、最近では、地域から出される要望は、減少傾向にある。

審議案件

■全員賛成■

〈条例の一部改正〉
- ○川西市国民健康保険条例（厚生経済）
- ○川西市議会委員会条例

〈補正予算〉
- ○平成21年度川西市一般会計第３回補正（総務・文教公企・厚生経済）
- ○平成21年度川西市国民健康保険事業特別会計第１回補正（厚生経済）
- ○平成21年度川西市老人保健事業特別会計第１回補正（同）
- ○平成21年度川西市介護保険事業特別会計第１回補正（同）
- ○平成21年度川西市病院事業会計第１回補正（文教公企）

〈決　算〉
- ○平成20年度川西市水道事業会計決算認定（公企会計決算特別委）
- ○平成20年度川西市病院事業会計決算認定（同）
- ○平成20年度川西市下水道事業会計決算認定（同）

〈その他〉
- ○教育委員会委員の選任
- ○人権擁護委員候補者の推薦＝４件
- ○市功労者表彰＝３件
- ○高規格救急自動車の買入れ（総務）
- ○消防ポンプ自動車・ＣＤ－Ⅰ型の買入れ（同）
- ○児童用机及び椅子の買入れ（文教公企）
- ○市道路線の認定（建設）

■賛成多数■

〈その他〉
- ○宝塚市、川西市及び猪名川町消防通信指令事務協議会の規約の制定に係る協議（総務）

■継続審査■

〈決　算〉
- ○平成20年度川西市一般会計決算認定（一般会計決算特別委）
- ○平成20年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定（特別会計決算特別委）
- ○平成20年度川西市老人保健事業特別会計決算認定（同）
- ○平成20年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定（同）
- ○平成20年度川西市農業共済事業特別会計決算認定（同）
- ○平成20年度川西市介護保険事業特別会計決算認定（同）
- ○平成20年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定（同）

【請　願】

■採　択■
- ○細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める請願書（厚生経済）
- ○現行保育制度の堅持・拡充と保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見提出を求める請願書（同）

■不 採 択■
- ○義務教育費国庫負担制度の２分の１復元と堅持に関する件の請願（文教公企）

■取 下 げ■
- ○細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める請願書（厚生経済）

■継続審査■
- ○精神障害者の医療費助成に関する請願書（厚生経済）

【注】（　）は付託された委員会です。

傍聴にお越しください

川西市議会では、本会議はもとより、議会運営委員会、常任・特別委員会など、すべての会議を公開していますので、ぜひ傍聴にお越しください。

また、これらの会議録は、市議会事務局や中央図書館などのほか、下記の市議会ホームページでもご覧いただけますので、ご利用ください。

次の定例会は、11月下旬から開かれる予定です。

会議の開催日程などは、市議会事務局（TEL：740-1255)にお問い合わせいただくか、市議会ホームページ（http://www. city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/）をご覧ください。